

## 募集説明会にあたってお寄せいただいたご質問と回答

### 【提供プログラムについて】

Q1 L-INSIGHT フェローがどのようなものなのか知りたいです。

A1 ロールモデルの不在や、長期的展望の維持を揺るがす現状を踏まえ、L-INSIGHTでは、若手研究者の主体性を活かし、その潜在能力を最大限に引き出す育成プログラムを開発します。そのため、京都大学の志の高い若手研究者とともに育成プログラムの実証を行なっています（事業実施報告書 p12）。

また、「世界視力」という研究活動上の目的と視座からなる、9つの属性で構成される行動特性を自律的・長期的に備えるための機会形成を行ない、プログラムを開発しています（同 p11）。

Q2 フェローになった後の京大内外での交流に関心があります。

A2 フェロー間、国際的な交流機会を多数設けています。また他実施機関のフェローとの交流機会もあります。

### 【応募申請書記載事項について】

Q3 渡航計画及び招聘予定研究者について、応募時点で確実に指定する必要があるかどうか教えて欲しいです。

A3 研究者としての長期目標と、その実現に向けて取り組むべき活動を想定し、一連のプロジェクトとして実施します。研究者のコアサークルを形成することを長期的目標の実現に向けた活動の中心に据え、到達点の一つとします。（事業実施報告書 p.12）

訪問先の確定は不要です。渡航・招聘の内容が、研究活動の中長期的目標においてどのような意義があるのかを明らかにしてください。受入れ後、毎年度初めに構想を伺い、必要な金額を提出頂きます。

Q4 応募資格にある「優れた業績」の目安を知りたいです。

A4 これまでも志高く研究に取り組まれており、さらに「L-INSIGHT への参画により、世

界トップレベルの研究者として将来活躍」したいと熱意をもち、かつ準備が整っていることを説明し得ることを目安としてください。業績には、審査の観点 3)を説明する経験や実績を含めます。

#### 【その他】

Q5 人文学研究者の採択可能性は？

A5 もちろんあります。L-INSIGHT ではフェローの分野の多様性を重視しています。

Q6 フェローの分野の多様性を重視するとのことですが、1～5期のフェローと専門分野に重複が見られる場合、あるいは研究室等の所属が同じ場合、選考において不利になることはありますか？

A6 ありません。審査では申請者本人の熱意や応募申請書の内容のみを判断いたします。

Q7 受入期間中に任期が切れる場合（テニュアトラック助教等）でも応募可能でしょうか？

Q7 応募時点で2029年3月31日までの転出が確定していなければ、可能です。

Q8 期間中に1年間の在外研究を予定していますが、応募は可能でしょうか？

A8 在外研究を予定している場合でも応募可能です。

L-INSIGHTの活動とご自身の研究活動をどのように組み合わせ、1年間不在となる上でどのような活動計画を立てるかについて、申請書にご記載ください。また、在外研究を予定している場合は、申請書にご記載いただくなどによりその旨をお知らせください。

Q9 採択に国籍は関係ないですか？日本人研究者の国際化をサポートするためのプログラムのように感じますが。

A9 国籍は関係ありません。フェローコミュニティの国際化のみならず、L-INSIGHTで提供するプログラムも益々国際化を図りたいと考えています。積極的にご応募ください。

Q10 二次選考はどのような内容で行われますか。研究のプレゼンテーションはありますか？

A10 二次選考では、申請書にご記載いただいた内容をもとに、約 20 分間の質疑応答を行います。スライド等を用いた研究プレゼンテーションは実施しません。

本制度は研究費助成を主目的とするものではないため、研究内容の優劣そのものは審査の中心ではありません。研究者としてどのような将来像を描いているか、また、その実現に向けてどのような取り組みを行いたいと考えているかといった展望や意欲を重視して審査を行います。

Q10 既にいくつか国際共同研究プログラムに日本人研究者として参加をしている場合、当該プログラムで持っている人脈等を活用して研究計画を組み立てることは可能でしょうか。また、そのプログラムへ参加する際の渡航費等についても、L-INSIGHT フェローとしていただく渡航費を使わせていただくことは可能でしょうか。また成果の出し方も、L-INSIGHT による成果でありながら同時に当該プログラムの成果という複数の意味合いを持つことになると思いますが、それは大丈夫でしょうか。

A10 どちらも問題ありません。L-INSIGHT の活動は他の外部資金等による研究を含め、申請者本人の研究を推進するものですので、複数の意味合いをもつことはもちろん問題ありません。人脈については、既に持っている人脈を活用し、それをさらに拡大して頂くことを想定しています。

Q12 L-INSIGHT フェローとなっていることにより、同時期に科研が獲得しにくくなる、逆に科研を豊富に持っている場合には L-INSIGHT フェローの採用可能性が小さくなるといったことはありますか。

A12 ありません。科研費と L-INSIGHT は全く趣旨の異なるファンドであり、また運営主体も異なります (L-INSIGHT は京都大学独自の制度です)。